

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6101	(H.24)No.	6101
-----------	------	-----------	------

事務事業名		教育振興一般経費(学校教育室)			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		学校教育室		和南義一	63-7882
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	462501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	教育振興費	
項	教育総務費	(小事業名)	
目	教育振興費	教育振興一般経費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
教育委員会として学校教育の充実に資するため、各学校の運営や児童生徒の活動のために必要な経費である。	

めざす効果(事業目的)	
この事業により、各学校の運営や教育水準を維持向上することができる。	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		
主な事業の実績・計画	報償費・事業推進報償費・就学指導相談委員報償費・各種委員会等報償費・特別支援学級児童生徒交流会旅費 学校評議員報償費・学力向上のための講演会講師報償費等) 1,055千円 カリキュラム作成等委託料 140千円 負担金補助及び交付金(三重県特別支援学級設置校長会会費・名張教育会館借用に係る光熱水費等) 1,836千円 他		報償費・事業推進報償費・就学指導相談委員報償費・各種委員会等報償費・特別支援学級児童生徒交流会旅費 学校評議員報償費・学力向上のための講演会講師報償費等) 1,358千円 カリキュラム作成等委託料 100千円 使用料及び賃借料 2千円 負担金補助及び交付金(三重県特別支援学級設置校長会会費・名張教育会館借用に係る光熱水費等) 1,840千円		
	現在の実施手法(複数選択可)				
	市が直接実施				
	業務委託(全部・一部)により実施				
	指定管理				
	補助金・交付金				
	その他 ( )				
	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)		
直接事業費	3,032千円	3,300千円	3,542千円	3,542千円	3,542千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他( )				
一般財源	(0) 3,032	3,300	3,542	3,542	3,542
人工数	職員	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
	臨時職員等	0.01人	0.03人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 747千円	781千円	747千円	747千円	747千円
+ 総事業費	(0千円) 3,779千円	4,081千円	4,289千円	4,289千円	4,289千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	特別支援学級児童生徒交流会事業開催数	回	8	10	12	12	12
	実績			12	12	12	12	
成果指標	目標	小・中学校の教育環境に満足している市民の割合	%	-	-	-	-	62.0
	実績			59.2	57.5	59.6	60.6	
活動指標	目標							
	実績							

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
カリキュラム作成や教科別指導資料作成を委託した学校については、特色ある取組から具体的な事例を提出していただいた。基礎学力向上支援事業とも連携し、発表を実施することにより他校の取組への参考となった。	特色ある取組について、今後も積極的に交流する機会を持ち、事業の成果を広げていきたい。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	研修講師の選択
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項